



# おてあがり 作品紹介



今回の作品は「打ち上げ花火」です。毛糸をダンボールに巻きつけました。コロナウイルスの影響でイベント等が中止になる中、季節感を感じられるよう患者様と一緒にインパクトのある作品に仕上げることが出来ました。カラフルな色合いで、気分も明るくなります。

# 災害対策

9月になり、強烈な台風10号が九州に接近しました。皆さんも災害対策に力を入れたと思います。病院やリハビリでも、窓にテープを貼ったり、物が飛ばない様に点検・片付けをし、水不足や停電した際の対策を念入りに行ないました。対策の甲斐もあり入院患者様の生活に支障をきたすことなく過ごすことが出来ました。



また、浜江堂では町の要請があれば浜江苑のくぬぎスタジオや支援センターの茶屋を地域の避難所として開放準備をしていました。

今後も、地域の皆さまにとっていつ何が起きても落ち着いて対応できるように、日頃からの準備や対策が大切だと感じました。



# ランチョンセミナー 言語障害とコミュニケーション



ランチョンセミナーで「言語障害とコミュニケーション」というお題で発表しました。

今回は、「失語症」「構音障害」という外見では分かりづらい障害を持つ方に対するコミュニケーションの取り方について紹介しました。

## 「失語症」とは・・・

大脳損傷によって生じる後天的な言語機能障害です。一般に失語症は、「話す」「聴く」「読む」「書く」の言語のすべてのモダリティ（様式）が障害されます。しかし、挨拶だったり単語等の言葉が残っている事もあります。

失語症の方に対するコミュニケーションの取り方をピックアップして紹介します。

基本的な姿勢として子ども扱いせず、表情がわかる位置で落ち着いた雰囲気を中心掛けましょう。会話は基本的に先回りしないで、しばらく待つこと短く、ゆっくりと話すように心掛けましょう。会話の工夫は「はい」「いいえ」で答えられる質問や用意された答えの中から選んでもらうとスムーズにコミュニケーションが取れることがあります。



## 「構音障害」とは・・・

口や舌、声帯など声を出すのに重要な役割を果たす部位に障害が生じ、上手く発声が出来なくなった状態を指します。



構音障害の方に対するコミュニケーションの取り方をピックアップして紹介します。

Yes-Noで答えられるような質問をする長く話すとなかなか言葉が上手く出て来なかったりする為、短くゆっくり言ってもらいましょう